

William Kentridge
What We See & What We Know
Thinking About History While Walking, and Thus the Drawings Began to Move...

ウィリアム・ケントリッジ

歩きながら歴史を考える そしてドローイングは動き始めた……



東京国立近代美術館

2010年1月2日[土] - 2月14日[日]

お問い合わせ先

イメージ貸出・取材：企画展室広報担当

展覧会内容：「ケントリッジ」展担当者

PHONE:03-3214-2561(代表) / FAX: -2576

e-mail: pr@momat.go.jp

記事をご掲載いただける場合、読者プレゼント用として招待券をさしあげます。ご相談ください。

展覧会のポイント

ドローイングをコマ撮りした独自の手描きアニメーションにより、現代美術における映像表現を牽引する南アフリカ出身のアーティスト、ウィリアム・ケントリッジ。待望の国内初個展。

1970年代末の初期作から、2008年制作の近作までを網羅した約120点の作品により、アーティストの全貌が明らかに。

オペラ(シオスタコーヴィチ)、初期映画(ジョルジュ・メリエス)、人形劇、影絵芝居など、バラエティに富んだテーマの作品は、美術ファンにとどまらず、多くの観客を魅了。

初邦訳となる作家のテキストを多数含む、200ページを超える充実の展覧会カタログを刊行。

開催要項

タイトル	ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える そしてドローイングは動き始めた…… メインタイトル:ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える サブタイトル:そしてドローイングは動き始めた……
会期	2010年1月2日[土] - 2月14日[日]
開館時間	午前10時から午後5時まで 金曜日は午後8時まで(入館は閉館30分前まで)
休館日	月曜日[ただし2010年1月11日は開館]、1月12日[火]
主催	東京国立近代美術館、京都国立近代美術館
後援	南アフリカ共和国大使館
会場	東京国立近代美術館 企画展ギャラリー(1階)
アクセス	東京メトロ東西線竹橋駅1b出口 徒歩3分 〒102-8322 東京都千代田区北の丸公園3-1
観覧料 (所蔵作品 展を含む)	一般850(600)円 / 大学生450(250)円 *()内は20名以上の団体料金。いずれも消費税込。 高校生以下および18歳未満、障害者手帳をお持ちの方とその付添者(1名)は無料。 入館当日に限り、「早川良雄」展と所蔵作品展「近代日本の美術」もご観覧いただけます。
お問合せ	03-5777-8600 (ハローダイヤル)
HP	http://www.momat.go.jp
記者内見会	2010年1月7日[木] 15:30 - 16:45 (16:00より講堂で記者発表を予定)
イベント 講演会など	講演会 *いずれも聴講無料・申込不要(先着150名) 1月10日[日] 14:00 - 15:30 ジェーン・テイラー(批評家、作家 / シカゴ大学客員教授・本展カタログ執筆者) * 逐次通訳付 1月30日[土] 14:00 - 15:30 河本信治(京都国立近代美術館学芸課長・本展企画者) 担当学芸員によるギャラリー・トーク *いずれも参加無料(要観覧券)・申込不要 1月22日[金] 18:00 - 19:00 2月 5日 [金] 18:00 - 19:00
巡回情報	広島市現代美術館 2010年3月13日[土] - 5月9日[日]
同時開催	「早川良雄 “顔”と“形状”」ギャラリー4(2階) 所蔵作品展「近代日本の美術」所蔵品ギャラリー(4-2階)
次回展覧会	「生誕120年 小野竹喬展」2010年3月2日[火] - 4月11日[日] 企画展ギャラリー(1階)
プレゼント	記事をご掲載いただける場合、「読者プレゼント」用に招待券を提供させていただくことができます。枚数は応相談。ご希望の方はご連絡をお願いします。

開催主旨

東京国立近代美術館は、2010年1月2日より、「**ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える そして
ドローイングは動き始めた……**」展を開催します。

*

この展覧会は、南アフリカ出身で、現代を代表するアーティストであるウィリアム・ケントリッジの活動を、約120点の作品によって紹介するものです。

*

ウィリアム・ケントリッジ(1955年南アフリカ共和国生まれ、ヨハネスブルグ在住)は、1980年代末から、ドローイングを映画用撮影カメラでコマ撮りし、文字どおり「動くドローイング」とも呼べるアニメーション・フィルムの制作を開始します。それは木炭とパステルで描いたドローイングを部分的に描き直しながら、1コマ毎に撮影する気の遠くなるような作業から生み出される作品です。絶えず流動し変化し続けるドローイングの記録の連鎖から生まれる彼のアニメーションには、消しきれない以前のドローイングの痕跡が残され、堆積された時間の厚みをうかがわせる重厚さにあふれた表現となっています。

*

彼の作品は南アフリカの歴史と社会状況を色濃く反映しており、自国のアパルトヘイトの歴史を痛みと共に語る連作(プロジェクトのための9つのドローイング)は、脱西欧中心主義を訴えるポストコロニアル批評と共鳴する美術的実践として、1995年のヨハネスブルグ・ピエンナーレや1997年のドクメンタ10を契機に世界中から大きな注目を集めるようになりました。しかし彼の作品を冷静に注意深く解読すると、その政治的外見の奥で、状況に抗する個人の善意と挫折、庇護と抑圧の両義性、そして分断された自我を再統合しようとする努力とその不可能性など、近代の人間が直面してきた普遍的かつ根源的問題を、執拗に検証し語り続けていることが分かります。ケントリッジ自身が「石器時代の映画制作」と呼ぶ素朴な制作技法に固執していることも、それが近代の物語(ナラティブ)生成の原点、あるいは歴史を遡りながら植民地主義の病理を啓蒙主義の中に探ろうとする彼の強い意志によるものと理解すべきなのかもしれません。

*

精緻なセル画アニメやCGが主流である現代にあって、ケントリッジの素朴なアニメーション技法はその対極に位置していますが、彼の力強い表現は、ドローイングのコマ撮りアニメーションがいまだに有力な表現手法となり得ることを証明しており、1990年代中頃から彼の作品は、世界中の若い世代の美術家たちに大きな影響を与え続けています。

*

いま世界で最も注目を集める美術家の一人であるケントリッジは、2009年3月のサンフランシスコ近代美術館を皮切りに、フォートワース近代美術館(テキサス)、ノートン美術館(フロリダ)、ニューヨーク近代美術館、アルベルティーナ美術館(ウィーン)、イスラエル美術館(エルサレム)、ステデリック美術館(アムステルダム)を会場に、大規模な世界巡回展が進行しています。

*

日本での展覧会は、ウィリアム・ケントリッジとの3年間にわたる緊密な協力と広範な準備作業を経て実現されるもので、我が国では初の個展となります。南アフリカの歴史を扱った代表作(プロジェクトのための9つのドローイング)(1989-2003)から、ショスタコーヴィチのオペラ『鼻』を題材にした最新作の『俺は俺ではない、あの馬も俺のではない』(2008)まで、フィルム・インスタレーション4点を含む19点の映像作品と、36点の素描、63点の版画によりケントリッジの活動の全貌を紹介します。

作家略歴

1955年生まれ。南アフリカ共和国ヨハネスブルグ在住。ヨハネスブルグの大学において政治学を学んだ後、パリのエコール・ジャック・ルコックにおいて演劇を学ぶ。1980年代末から、ドローイングをコマ撮りした手描きアニメーション・フィルムを制作・発表する。

1997年ドクメンタ10、98年サンパウロ・ビエンナーレ、99年ヴェニス・ビエンナーレ、カーネギー・インターナショナル、2000年広州ビエンナーレ、01年横浜トリエンナーレ、02年ドクメンタ11、08年シドニー・ビエンナーレに参加。

2009年から2011年にかけて、サンフランシスコ近代美術館、フォートワース近代美術館、ノートン美術館(フロリダ)、ニューヨーク近代美術館、アルベルティーナ美術館(ウィーン)、イスラエル美術館(エルサレム)、ステデリック美術館(アムステルダム)を巡回する展覧会が開催中である。

また、俳優、演出家、著述家など多彩な分野でも活躍している。



Photo by John Hodgkiss

第一会場となった京都国立近代美術館での展示(9月4日～10月18日)について、さまざまなメディアより多くの反応がありました。下記にその一部をご紹介します。

「壮麗な映像にひそむ鋭い洞察」

毎日新聞(9月14日)

「圧倒するイメージの喚起力」

毎日新聞(9月16日)

「多大な労力費やした手作業の短編アニメ
歴史を考えさせる美術」

しんぶん赤旗(9月18日)

「映像から漂う物憂さと郷愁」

朝日新聞(10月12日)

「粗削りな線が、なんと豊かな力を秘めているのか」

読売新聞(10月15日)



京都国立近代美術館での展示風景(撮影:四方邦熙)

広報用素材



1

《流浪のフェリックス》のためのドローイング[フェリックスの部屋 / 望遠鏡を覗くナンディ]
1994年 木炭、パステル、紙 作家蔵



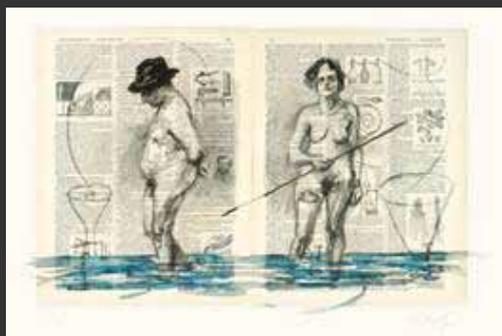
2

《鉦山 / 私のもの》(スチール)
1991年 アニメーション、5分50秒 作家蔵



3

《コピュ、真実を暴露する: 第1幕 第2場》
1996-97年 版画 作家蔵



4

《スペクトロメーター(分光計)》
2000年 版画 作家蔵



5

《俺は俺ではない、あの馬も俺のではないより》
(同志鼻陛下) (スチール) 2008年
8つの断片映像による映像インスタレーション
京都国立近代美術館蔵

YouTubeでの動画紹介のご案内

下記のホームページ('YouTube'内、京都国立近代美術館のチャンネル)で、ウィリアム・ケントリッジの映像作品(抜粋)をご覧いただくことができます。

アドレス:

<http://www.youtube.com/user/MoMAKJapan>

*すべての作品は© the artist

To: 東京国立近代美術館 広報担当行 (FAX: 03-3214-2576)

「ウィリアム・ケントリッジ」展 広報用写真申込書

御依頼者氏名: _____ 貴社名: _____

御住所: 〒 _____

TEL: _____ (内線 _____) FAX: _____

e-mail: _____

出版物・放送番組名: _____

発行・放送予定日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ : _____ ~ _____ : _____

図版 「ウィリアム・ケントリッジ 歩きながら歴史を考える そしてドローイングは動き始めた.....」展	
1	《流浪のフェリックス》のためのドローイング [フェリックスの部屋 / 望遠鏡を覗くナンディ] 1994年 木炭、パステル、紙 作家蔵 © the artist
2	《鉱山 / 私のもの》(スチール) 1991年 アニメーション、5分50秒 作家蔵 © the artist
3	《ユピュ、真実を暴露する: 第1幕 第2場》 1996-97年 版画 作家蔵 © the artist
4	《スペクトロメーター(分光計)》 2000年 版画 作家蔵 © the artist
5	《俺は俺ではない、あの馬も俺のではない》より《同志鼻陛下》(スチール) 2008年 8つの断片映像による映像インスタレーション 京都国立近代美術館蔵 © the artist
6	ウィリアム・ケントリッジ肖像写真 [3ページ右上] Photo by John Hodgkiss
読者プレゼント用招待券 _____ 組 _____ 名 (_____ 枚)	

プレス・イメージ貸出条件

1. 写真は、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。
2. データを第三者に渡すことは禁じます。使用后、画像データは消去してください。
3. 展覧会の名称、期間、会場は、適切な場所、大きさを明示していただくようお願いいたします。
4. 作品写真は全図で使用してください。部分使用やトリミング、作品に文字を重ねることはできません。
5. 写真を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記載ください。
6. 掲載紙(誌)は、1冊、企画展室宛にご寄贈ください。web サイトの場合は掲載時にお知らせください。

画像はデータ(JPEG)にてお貸出いたします。その際、一緒にお送りするキャプションもご確認ください。

掲載前に校正紙をお送りください。お送りいただけない場合、掲載内容についての責任は当方で負いかねます。

<報道関係のお問合せ> 東京国立近代美術館 企画課 企画展室 広報担当

〒102-8322 千代田区北の丸公園 3-1 TEL:03-3214-2561(代表) / FAX:03-3214-2576